

石川自治センター



だより

第 57 号

発行所：石川自治センター

発行者：石川自治センター長 南條一夫

〒 963 - 7859

石川町字南町 36

Tel 26-1554 (FAX も同)

新年 明けまして おめでとうございます

昨年は、石川自治センターの運営につきまして特段のご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

今年は、自治センターの運営が地域自治協議会体制に移行する検討・協議の年であります。昨年 12 月 18 日に事前説明会を開き、地域づくり推進課から石川地区の行政区長及び副区長の方々への説明を受けました。今後のスケジュールとしては、引き続き、関係団体等への説明・協議を行って、4 月に設立準備委員会を立ち上げ、平成 17 年度からの地域自治協議会の試行設立の運びとなっております。設立の主旨や目的を踏まえて行政区長の皆様方始め、設立準備委員会や関係団体等の方々のご理解とご協力をいただきながら機能する地域自治協議会の設立に向けて対応に当たってまいりたいと考えております。指定管理者制度にかなう組織の設立と運営のあり方(規約、運営費、協議会職員の雇用等)、事業計画の策定、独立した組織指定管理者としての関わり方等、検討課題が山ほどあります。加えて、自治センターの関わり方は、職員が事務局に配置される形になり、組織が独立運営になるとともにかなり大きくなりますことから、これまでとは大きく異なった対応が必要になってくるのが想定されますので、役場の体制も含めてご検討いただければと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

今年度の自治センター運営につきましては、運営協議会やまちづくり委員会、推進員会等、現体制での運営となりますが、「自治センター 3 つの宣言」(ものづくり、地域の茶の間、地域の宝さがし)と「5 つの活動方針」(つどう、まなぶ、つなぐ、つくる、ささえあう)をベースに、昨年度の事業内容を柱として継続性を維持しつつも、反省を踏まえて新たなものを加えることができると思っております。関係の役員の皆様はじめ、委員の方々の積極的なご発言をお願ひ申し上げますとともに町支援員各位の昨年以上のご指導をよろしくお願ひいたします。

現在、まちなか再生委員会では、3 月の「まちなか再生行動計画」の策定に向け、鋭意取り組んでおられるところですが、自治センターといたしましても、石川町をどうすれば活性化できるか、人を呼び込める町にすることができるか、という視点で共に取り組めるテーマ(石川町のお宝を活かす)に取り組んでまいりたいと考えております。町民の総意を集約できるものでなければなりません、官民の知恵とエネルギーが一つになる取り組みにして成果を得たいと思っております。

おわりに、東日本大震災や原発事故の復興が遅々として進まず、また、社会情勢もあらゆる分野で厳しさが増幅しておりますが、石川地区の皆様方にとりまして今年が稔り多い年であり、ますことを衷心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

平成 26 年 1 月 1 日

平成 26 年度防犯協会石川支部標語優秀作品決定

防犯協会石川支部(有賀四郎会長)は、12 月 4 日(水)役員会を開き平成 26 年度の防犯標語優秀作品 3 点を決定しました。(石川小 4 年生・5 年生・6 年生の応募総数 77 通より選出。)

「万引きは 小さいことでも やっちダメ」 4 年 小針雅史 (三芦・高田地区 4 箇所掲示)

「元気なあいさつ 地域の安全 守ります」 6 年 須藤きらり (下泉地区 6 か所掲示)

「犯罪を 未然に防ぐ 大きな目」 4 年 岡村梨央 (市街地地区 4 箇所掲示)

石川地区まちづくり委員会三役会議

石川地区まちづくり委員会(西牧敏幸委員長)は12月17日(火)三役会議を自治センターでおこなった。第5回まちづくり交流会(H26年2月)での事例発表、大鍋大会等での役割分担、まちづくり3部会の活動・3部会の合同会議開催、まちづくり事業実績検討会開催等について協議しました。

第5回地元学講座及び閉講式



第5回の地元学講座は、昨年12月18日に開催され、「石川町のお宝について考える」と題し、南條センタ一長が講話した。石川町の「お宝」には歴史にまつわるもの(石川城や自由民権運動等)、神社・仏閣、鉱物、自然等々、様々なものがある。これらのお宝には、町民が「認知」し、「誇りに思い」、自己満足～「自慢したい」→

「観光資源(集客)→町の活性化(究極は住みたくなる)」という構図が描かれるのではないか。活用に当たっては、ターゲットや資源のコラボの検討も必要では?。石川地区まちづくり委員会では八つの地域団体でまちづくり事業に取り組んでいるが、石川地区全体としての線や面でのつながりが人を呼ぶのでは?。また、石川公有光公から昭光公まで25代の約500年の歴史を全国レベルの歴史(平安～戦国時代等)と横並びにまとめた資料(石川町史より作成)を示し、例えば源頼朝や鎌倉・室町幕府の有名な将軍、後醍醐天皇、織田信長、豊臣秀吉、伊達政宗などとの関わりを切り取り、紙芝居や漫画、演劇等で表現することによって町民や子供達の心を捉えることができなにか、そして集客できないか(実行可能性を教育委員会や地域づくり推進課等と連携・協議)、等の内容でした。引き続き、閉講式を行い、今年度の講座の感想、次年度の講座の内容等について検討しました。

石川・新田寿大学12月学習会

石川寿大学(千代田ハナ委員長)は、12月17日(火)午前9時30分より町公民館で「体力測定」の学習会を27名が参加され学習会がおこなわれた。講師にひらた中央病院リハビリテーション科科長平田智先生を招き、講話と体力測定・今後の対策について学んだ。握力・バランス・立ち上がりの三種目をおこない数値化し自分の体力について現状把握した。握力では30K以上、(平均20～25K)、バランス(片足立ち)では1分以上(平均20～30秒)、立ち上がり(30秒間にイスに座り立ち上がる)では20回以上(平均10回)と平均を大きく上回り、健康であることが証明された方もいた。日常生活の中で習慣的(週2回以上)に体を動かすことが健康・体力増進につながるということが大切であることなどご指摘を受けました。継続は力なりですね。



新田寿健康大学(吉田征治委員長)は、12月19日(木)午前9時30分より新田ふれあいセンターで「クリスマスリース」作りの学習会を女性13名・男性5名が参加しおこなわれた。講師は、まちなか工房籐手芸教室の手塚久美子先生・真弓利子先生を招き約25cmのリースを製作した。各自リボンや松ぼっくり

持参するなどして、先生の指導を仰ぎながら彩や飾り付けを施し素敵なリースが出来上がりました。自宅に持ち帰り玄関等にかざりクリスマスに華を添えることでしょう。

1月度行事予定

日	曜日	行事予定	備考
8	水	企画推進員会議 13時30分	石川自治センター
16	木	新田寿健康大学学習会 9時30分、レディースきたす閉講式 18時、まちづくり交流祭実行委員会 19時	新田ふれあい C、母畑そば美人、
21	火	石川寿大学学習会 午前9時30分	町公民館
25	土	レディース猫啼閉講式 午後7時	西田屋
		レディース馬場町開講式	未定

※まちなか工房お知らせ
籐手芸教室は、一月教室より火曜日に変更開催となります。時間は、午後一時から四時まで。